

サラリーマンの疲れわかる



国際交流員

ケルシー・クリーブランドさん

大阪市国際交流員。1999年、アメリカ・マサチューセッツ州から国際交流員として再来日。現在、大阪市姉妹都市交流協議会に勤務。

私が関西に住んでいちはん苦労しているのは通勤のことですが、通勤中に日本の観察や理解ができ、いろいろな面白い経験や出会いもあります。

私の通勤は、自宅のある神戸市の六甲アイランドから、大阪市の大阪国際交流センターまでで、往復約三時間かかります。

この通勤中の経験や日々の出会いがいちばん面白いと思っっています。毎日、人にあいさつすること、道が分からなかったときに連れて行ってもらった人、隣に座っている赤ちゃんと出会うことなど、個人的なレベルの国際交流の機会があります。例えば、よく同じ電車に乗る女性と仲良くなり、一緒に歩きながら天気や祭り、近所のイベント、

通勤中に貴重な体験

週末の予定などについて話をしています。

他にも面白い人間関係があります。朝、電車に乗ったとき、いつも同じサラリーマンの前に立っていますので、その人と顔見知りになりました。実は、以前空いている席がない時、この人が次の駅で降りることを知り、その前に立てば次に座れるとわかったのです。その人は、電車の中でたいてい寝ていますが、降りる駅に近づくと起きます。私が前に立ってあいさつをした後、この人は直ちに寝てしまします。時々、降りる駅に着いても起きないので、私が「着きましたよ」と、起こすこともありません。

人々との出会いだけではなく、通勤中にさまざまな

風景が見えてきます。電車から海、六甲山、川、公園、酒の醸造所、港の様子、屋上の盆栽コレクション、桜、阪神大震災の仮設住宅、学校の運動場やポーラ、建築現場での労働者の朝の体操、川に沿って点在する



アメリカ・ミネソタ州ダールズ市にあるスベリオル湖。ミネソタ州は「1万個の湖のある土地」と呼ばれ多くの自然に豊かな文化が育まれている

おおさが日曜版

新・世界がみている



大勢の乗客を押しこむ白い手袋の地下鉄職員、寝ているホームレスの人々、反対の経験もあります。例えば、梅田で階段を下りる人のホームで毎日見かける母と子供、着物を着ている女性(特に卒業式の時)、梅田の人込み、パチンコ店、レストラン、コンビニなど

◆NPOの財政強化のための助成財

団セミナー「あなたの事業を応援します」6月3日13時半-16時、大阪国際交流センターで。NPOの最大の課題は財政難。その重要な財源のひとつ「助成金」について、助成団体の担当者から助成内容や目的、申請のポイントなどを聞く。講師は国際交流基金、日本財団、リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金、立正佼成会。1500円。問い合わせ、関西国際交流団体協議会(806・6773・0256)へ。

国際交流だより

◆世界の女性とティータム 6月1日14時-15時半、NPOプラザふなはし(奈良市)で。アフタヌーンティーを楽しみながら、自分らしい生き方、家族、子育て、仕事などについて語り合う。テーマは「中国」たっぷり、ゆっくり飲茶タイム。王ホエイ

◆国際協力ワークショップ「南北問題・異文化理解」6月9日・23日・7月7日・14日の18時45分-20時45分、神戸市青少年会館(6月)、神戸まちづくり会館(7月)で。6つのゲームを体験して「伝えること・気づくこと」のむずかしさなどを学び、取り組む。5000円、30人。問い合わせは、PHD協会(8078・351・4892)へ。